

横浜港南ロータリークラブ



ロータリーは機会の扉を開く

(2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ)



◎例会日/毎週水曜日 ◎例会場/京急百貨店 10Fパシオホール「リバージュ」 045(848)1111
◎事務所/〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-13-23 アウザイト 41-302号 TEL045(846)5111 FAX045(846)5129
◎会長/平山 滋也 ◎副会長/豊場 健伍 ◎幹事/青柳 民朗 ◎会報委員長/坂巻 照代

第 2195 横浜港南ロータリークラブ週報 2020. 9. 16. [水] 第 2438 回例会報告

- ◎司会 天野SAA 委員
- ◎ロータリーソング なし
- ◎ソングリーダー なし
- ◎出席報告 小後摩出席委員

会員数	出席者数	出席率	前回修正率	前月平均率
32(7)名	25(5)名	83.3%	76.6%	93.1%

()内は出席免除会員数

*公式出席

- ・令和1年12月12日 R 財 団 平山会長
- ・令和2年 7月28日 Rセミナー 平山会長
- ・令和2年 9月 7日 R 財 団 北見会員

◎ 会長報告

- ① 9月30日(水)18:30～『京急百貨店屋上』にて親睦会を行います。参加は自由ですが、となります。
- ② クールビズは9月末までとなりますので、10月からはネクタイ着用をお願いします。
- ③ 次回の理事会は10月5日です。
- ④ 会長指名委員会のメンバー構成の改定について、後ほど、青柳幹事より報告して頂きます。

◎ 幹事報告

- ① 会長指名委員会に関するクラブ細則について、皆さんには事前にFAXしています。見直しする部分はクラブ細則第一条第一節、会長指名委員会の構成員に関する部分です。『会長指名委員会はパスト会長5名と会長の合計6名で開催する』という原案はについて、皆様よりご承認頂きありがとうございました。会長指名委員会は今月末までに開催させていただきます。
- ② 9月30日(水)18:30～『京急百貨店屋上』にて、親睦会を行います。自由参加ですが、時間厳守でお願いします。
- ③ 次回の例会は10月7日(水)小後摩会員の卓話となります。その次は10月21日(水)、年内は月に2回の例会となります。
- ④ 例会の座席について、卓話時に見えにくい等ありましたので、動線の確保等も考えて理事会で検討します。

◎ 委員会報告

- ① 会報委員会 坂巻委員長
例会場入って右辺りに会報を置いておきます。会報

をメール受信されている方でもお読みになりたい方はお持ち下さい。

② 親睦委員会

海野委員長

* 配偶者誕生日祝

天野さち子様(30日)

◎ 『イニシエーションスピーチ』

松村会員



今年の4月、コロナ禍の状況下でしたが、高森さんと大井さんがお声をかけて下さり、こちらに入会させて頂きました。あれから5ヶ月、数えるほどの回数しかまだ参加していませんが、私がどのような者なのか、そしてどのような仕事をしているかをお話させて頂きます。

私は昭和39年4月に横浜市港南区で生まれました。育ちも港南区で、私は横浜が大好きです。この大好きな横浜の為に、いつか何か恩返しが出来たらと思いながら56年生きて参りました。自己評価ですが、私は優しくて穏やかな性格です。職歴は学生時代に宅配のバイトをしていました。この仕事をしたことで、自分は人の為になることが好きなのだ学びました。そのバイトしたお金で、中古のサーフボードを買って、波乗りをするありきたりの少年でした。他に、飲食では喫茶店やレストラン等、いろいろなポジションで、人々を支えるチームワークのようなものを勉強しました。これは今でも役に立っていると思います。幼稚園に入るまでサッカー指導員として子供を教えたりしていました。自分の家は幼稚園を経営していたので、幼稚園教諭をさせて頂いております。

趣味は温泉旅行です。はまっこなので、山に行くのが好きです。景色が変わる静かなところで、誰にも会わないで、山の粗末な物でも良いのです。『有難い。美味しいな。と言いながら食べ物を頂く』というような旅行が好きです。波乗りも細々とやっています。学生時代は陸上で短距離をやっていたので、今はジョギングもやります。そして、私と一緒に妻も幼稚園で働いているので負

担をかけない様に料理もします。

私の目標は『せめて家族(妻・長男・長女・ねこ)を幸せにすること』です。音楽はゆずやいきものがかりなどを聞いています。洋楽より日本の歌が好きです。映画は今までポケモンを子供と2回だけ見に行きました。それまで映画館には行ったことがありませんでした。私はじっとして物事を見つめるより、表に出るのが好きなので、バイクで旅行に行ったりしました。

次に私の仕事についてお話します。

幼稚園の教育目標は2つあります。

- ・恵まれた自然や多くの人々とのふれあいを通して人間らしさの基礎を培う。
- ・表現活動を通して、個性を伸ばし豊かな感性と創造力、表現力を育てる。

これらを保護者に約束しています。シンプルにこれだけが教育目標です。これに向けて環境を整えたり、人材を育てたり、行事をやったり、いろいろ肉付けをしますが、幹となっているのはこの二つだけです。人生にはいつかゴールがあります。そのゴールまでの間に小さな目標が出てきますが、これからは目標にしている子供の姿を軸にして、今どこに進んでいるのかというお話を致します。

幼児教育は遊びを通して行います。子供が豊かに育つ条件は、下図の中心部の交差する部分に子供がいれば、子どもは自然と育ちます。



子どもは幼稚園の人的・物的環境、家庭があり、友達があり、その真ん中に自分があるのです。しかし、その中心にいない子もいるのです。今は中心部だけでなく、家庭だけに依存している子や、幼稚園だけに依存している子などもいます。友達関係に依存している子は少ないです。この10年位は子供の姿が歪んでいるように感じています。本来なら、毎日中心部にいれば幸せなはずなのです。『僕は幸せだ。明日も楽しみ。早く寝

よう。ごはんも美味しい』これが中心部にある子供の姿ですが、そうではない姿もあるので、今はそれに向けて努力しています。子供たちの育つ姿には発達が関係しているのです。

段階はありますが、3歳児は『ひとりからみんなへ』という感じです。こちらが、『みんな』と声をかけても、3歳児は無反応です。僕はみんなじゃない、そういう感覚のまだ発達期なので、『ひとりからみんな』にしなければなりません。みんなでやると楽しいとなるように、これを3歳のうちにやっていきます。

4歳になると、『ともだちっていいな』となります。3歳の『みんな・・・』となると、波長が合う人が2~3人生まれてくるのです。そうすると、それを楽しみに明日も幼稚園に来るといふようになります。これが友達という意味です。小さい群れの集団が出来るようになります。その群れの集団を温めていくと、全体が良くなって来て、5歳の『もうすぐいちねんせい』となります。このくらいになると、我々が会社で作っているようなものとはほぼ同じ組織づくりをします。自分たちでルールを作るのです。『皆であれやっているけど、どう？だめだよね・・・』『そうだよね、じゃあやめよう』という感覚がこの中で生まれてきます。この5歳をバラバラにして、『危ないからやめなさい。けんかするからやめなさい、ぶつかるからやめなさい』なんてしてはだめです。意見の摺り寄せが出来なくなります。『面倒くさいからだまっていよう』という5歳児のまま、一年生に上げてしまうと、不登校になってしまいます。『周りにはルール作りが出来る仲間がいて、自分は居心地が悪い。出来ない、嫌だ』となります。そうなるかわいそうなので、早いうち社会を経験させるようにして育てていく、これが『もうすぐ一年生です』どうやって育てていくか、うちの幼稚園でのたった一つのポイントは、『遊びは学び』です。私の祖母が66年言っていました。子どもたちはよく遊びます。ただ遊んでいるのではないのです。3歳からの子どもに遊びは勉強そのものなのです。社会をやっている時もあれば、理科・算数・複合課題をやっている時もあります。様々な学習のファクターがあります。それを学んでいるという目で見て保護者や教員、大人がそばにいないか

で、その後の育ちが変わるのです。無駄な声掛けや指示など、先回りして教える事は、子供たちの学ぼうとする意欲がなくなってしまうのです。姿さえ学んでいるという観点から見れば、後は、今は待とう。今詰まったから、こんな風に切り返してやろうという形で子供たちを伸ばすことが出来るのです。それを我々はこの幼稚園でやっていこうとしています。シンプルにそれだけです。そんな風に育った子供は、リスクを恐れずに主体的な姿になります。だめかもしれないけどやってみよう。『なんでもかな、不思議だ』と感じてくれます。そうなった時、AIに勝てるのです。コンピューターはリスクを取りません。一番最適な方法を突き進むようになっています。ただ、これから生きる子どもたちはいろいろなリスクにも協調して立ち向かえるような姿に育てたいと保護者にも約束しています。保護者と約束する一番大事なポイントは、子供の姿というのは外側から見える行動と、その内側の中に感覚があって、更にその内側のど真ん中には心があるのです。何処を見るかによって、子供の姿は違います。行動だけ見ると、子どもはろくなくことをしていません。やかましく、何でそれをいじるのか等、行動だけ見てもだめなのです。その奥にある感覚や心を見ると、我々が失ったものをたくさん持っているのです。誰かが少しでも困っている様子を見ると、飛んできて、『大丈夫？』と寄ってきます。本来、人やサルに近い感覚で、仲間を擁護しよう、助けようという意識があるのです。その姿をみんなで学ぶのです。それにはお母さん方も外側の見える行動だけで評価しないで欲しいのです。生まれて3~5年位しか経っていないのに、『あの子は出来るのに、あなたはだめね。頑張りなさい』と、だからこそ、あゆみ幼稚園の先生は絶対に子どもの欠点を見つけるのではなく、長所を見て、そこに肉付けして伸ばしていくようにしています。

4歳になると仲良しの友達が出来るといふので、幼稚園では少し役割が出てきます。生き物の世話を順番でもらうなど係を付けます。ミニ社会の中で役割・自分の責任を持って少しずつ成長していきます。

表現活動で先生のお手本通りに作らせるのは学校に行ってからのお手本通りです。お手本に対して、どのく

らい近づいたかと評価するのが工作です。それには点数が付きます。幼稚園でやっているものには点数はつきません。遊ぶだけですから、素材・絵具・混ぜると色が変わるなど、これは理科です。手をスタンプにして指を数えたり、これは算数です。いろいろやります。3歳児に部屋の中でテーマを与えると、絵も描けるのです。3歳は見ているようにキュウリなど描いてくれます。『僕はキュウリに大きくなって欲しいから太く描いたんだ』というように理由があります。上手い下手など、ここもまた、評価してはいけないポイントです。陶芸用の粘土等を使うのに不慣れな子も、形がないので自信を持って遊ぶことが出来るのです。このような経験を繰り返していくと『僕はね・・・』というように強く太く育っていきます。

砂場で子どもが泥で料理を作り遊んでいたります。これは遊んでいるのではなくご飯を作っているのだと、子供達は本気でシェフになって、お母さんのようになべやお玉を使って料理を真剣に作ります。なべやフライパンは本物を使っているのです。よくお子様向けの物がありますが、子どもは使いたくて使っているのではないのです。私達が与えているからなのです。お母さんと同じことをやりたいから、子供たちはまねるのです。私は道具くらいまねさせてやろうと本物を使わせています。

生き物とのかかわりも、危ないとは言わないで、どうやって関わったら良いか作法みたいなものを教えながら育てています。園庭には木陰がたっぷりあって、今年も木に守られて保育が出来ました。園庭は無駄なものだらけに見えますが、実は余計なもの等は何もないのです。

子どもたちは80年から100年位、生きてくれると思います。その子供たちが、人生を豊かに、『生まれて良かった』と言えるよう、これからの人生を過ごせようと願いながら幼稚園をやらせて頂いております。

幼稚園に入って30数年、園長になって10年を迎えることが出来ました。このタイミングで、皆様とご縁がありましたことを嬉しく思っています。これからも引き続きよろしくお願い致します。これで私のスピーチを終わります。皆様ご清聴ありがとうございました。

◎ ニコニコボックス

海野委員長

平山会長

菅内閣の誕生おめでとございます。

松村会員の卓話を楽しみにしております。

青柳幹事

松村会員の卓話を楽しみにしております。

山野井会員

会員誕生日祝いを頂きまして有難うございました。

松村会員

本日イニシエーションスピーチです。どうぞよろしく
お願いいたします。

橋浦会員

本日の松村会員のイニシエーションスピーチは所用のため途中で退席させて頂きます。申し訳ございません。

浅井会員 市川会員 坂巻会員 宮島(史)会員

宮下会員 豊場会員 福嶋会員 宮島(秀)会員

上杉会員 小後摩会員

松村会員のイニシエーションスピーチを楽しみに
しております。

海野会員

港南区更生保護女性会への協力の為、お茶を購入
しました。皆さんにお配りします。

松村会員の卓話を楽しみにしております。

ニコニコボックス本日合計	24,000円
ニコニコボックス累計	218,000円

◎ 米山チャリティボックス 宮下米山奨学委員長

坂巻会員 小後摩会員 橋浦会員 宮下会員 4名

米山チャリティボックス本日合計	4,000円
米山チャリティボックス累計	38,000円

◎ 10月の予定

10月7日(水) 小後摩会員

14日(水) 休会

21日(水) 会員卓話

28日(水) 休会

◎ 会報

坂巻会報委員長